

会 報

No. 4



中部日本地質調査業協会

目 次

第25回定期理事会議録	1
誕生した東海ウエルポイント協会	5
東海ウエルポイント協会々則案についての挨拶	6
文 章	7
3月業績表	10
4月業績表	12
全国地質調査業協会連合会総会議録	14
愚 痴	19 5
ニンマリ Corner	24
おいろけ川柳	25
臨時理事会	26
中部日本地質調査業協会昭和37年度事業報告	27

誕生した 東海ウエルポイント協会

昨秋来より発議されていたウエルポイント協会が東海と云う輝しい命名の下に去る４月１１日の吉祥日に創立総会を開き新発足しました。何分のお声援をお願いします。

理事長	東京ボーリング	横地忠蔵
副理事長	大和基礎	大石象三
理事	中央開発	三浦秀夫
〃	山岡架設工業	藤重恒雄
〃	三信建設工業	
〃	ウエルポイン工業	水島修三
監事	富士開発	加藤力三

右の陣容にて花々しく進発した。何れもベテラン揃いでその業績や期して待つべきものがある。東海ウエルポイント協会則案について担当者中央開発ＫＫ名古屋営業所長 三浦秀夫氏の発言を掲記しました。

★ 東海ウエルポイント協会々則案についての挨拶 ★

協会創立までのいきさつについては発起人総代の横地さんから詳細に亙つてご説明のあつた通りであります。

本工法の普及については各社共、同一理論と施工によつて之をなしとげ、今日の隆盛をみるに至つたこと誠にご同慶に耐えません。我国に移入されてから既に一昔になつたのでありますが当初の物真似的な施工から真の土質に適合した今日の状態に至るまでの各社夫々の労苦は並大底なものではなかつたものと思われまふ。

豆井戸工法を従来のダルマポンプによる全場揚水とに切換えるに要した時間が短時日であつたのは土木、建築共その施工がいちじるしく機械化された要求によるものであることは現状の通りであります。

それではウエルポイントが現実にとどの程度使われて来たのか、又設計者側では必ず取り入れているのかと云うことについては、昨年農林省関係の設計担当案を対象にしてアンケートをとつてみたのでありますが結果は意外の数字でありました。知つてゐるものは知つてゐる。知らないものは全然知らない。

これは頂度都市を中心とした影響圏のような形になつて表われて来ました。この数字は5～10%でありました。

これら普及の偏重しているのは、使用者側の不勉強もあること乍ら、小規模な企業体が個々に実施したPRの偏重化によるものと思われれます。人によつてはウエルポイント工法などはもう古い過去のものであると云つております。考え方によつては正にその通りであります。電気料の安いアメリカあたりでは大きな動力を使つて水替えしてもさほどコストにひびくことはありませんが、それをそのまま我国に取り入れてはいけないことと思われれます。

ヘッダーパイプ、ウエルトポイント一つについて、更にウエルポイントポンプについても外見は変らなくとも、内容の充実したものに移行発展してゆかなければならないときが来たと考えます。

これらの問題について各社夫々の構想によつて工法の改良、改善に当つておられることと思ひますが我々施工業者としては必ずや近い将来に過去の諸問題を整理して業界に一步でも前進したいものと存じております。

ウエルポイント協会は東京にそれをもつており土建業界その他に対しても着々その実績を挙げておりますが、東海地区に於けるウエルポイントはこの地区の特異土質に対して施工するので、これらの検討、PR、単価の統一、施工に対する統一化等の諸問題を団体化して、業界の発展に資するため協会

をもつたのであります。

少々廻りくどくなりましたが、概略以上のような趣旨にもと
づいてお手元に配布いたしました会則案を製作いたしました。
充分のご検討をおねがいたします。

議案として取りあげてあります関係上、ご承認をいただく必
要がありますので、逐一読みあげますから、質問事項は全文
を読みあげてからまとめて検討いたしたいと存じます。



唯人 2001.

文芸

若き等はぶりの刺身の下駄切りに

報思講あと飲みてたのしむ

吉岡

なつかしき学帽なれは捨て兼て

日々かぶりゆく少年工の吾子

大沢

練行の誓いも固きこもり僧

木靴鳴らして石段のぼる

鈴木

入学の決りし吾子の安らぐか

日曜の午后を父と囲碁する

柴田

けい曹を使いたる掌のあかがりの

痛む今宵の雪となるらし

林

猪のあしあと深く泥苔の搔き荒らされて

やまつばき咲く

永井咲

薄氷の張れる水溜り跳びこえて

飯喰いに走る夜業終りて

中根

その昔火薬庫ありし跡を云う

峽の鉄路にあかく錆びいる

中野

3 月 業 績 表

月 日	発 注 先	工 事 名
3 - 1	半田土木出張所	道路改良工事試験費の内土質調査
4	県 耕地課	入鹿池堤塔補強工事
2	運輸省伊勢湾港湾建設部	四日市港地質調査
6	矢作ダム調査事務所	矢作ダム地点ボーリングその3工事
8	中部電力愛知多火力発電所	知多火力発電所
9	三重県 企業庁	木曾岬村地質調査
7	中部電力k k岐阜支店	田中変電所増強工事
22	愛知用水公団	補助溜池三ッ口池地質調査
"	東海電気通信局	豊橋報話局地質調査
"	日本道路公団	東名道路小牧地区土質調査
"	"	" 守山地区 "
"	"	" 春日井地区 "
"	"	" 長久手地区 "
27	東海電気通信局	高岡報話局地質調査
"	名古屋市水道局	熱田区西町通機水管工事
28	日本道路公団	東名道路岡崎地区その一
"	"	" その二
"	"	" 音羽地区
"	"	" 豊田地区

指 名 業 者	受 注 者
応用、中部、川崎、土質、東京、大栄、	応 用
富士、青葉、三裕、グラウト、ライト、	三 裕
大栄、興亜、川崎、土質、中部、中開、応用、東京、東港、日東、技研、日開	日本開発
日時、日物、 応用、管、東京、土質、川崎、口土、東地、ヤマト、	日 特
中開、東京、応用、	中央開発
近復、中部、応用、土質、管、興亜、	近 復
中開、東邦、旭、	旭
応用、青葉、三裕、ヤマト、中開、協立、旭	三 裕
川崎、中央、中部、	中 部
応用、川崎、土質、近復、明治、	近 復
“ “ “ “ 中開、	川 崎
“ “ “ “ 管、 明治、	応 用
“ “ “ “ 中開、	管
興亜、興亜地質、近幾、	興 亜
東京、土質、応用、大栄、日開、	東 京
土質、応用、明治、	明 治
“ “ “ “	土 質
“ 川崎、近復	川 崎
	土 質

4月業績表

月日	発 注 先	工 事 名
4 - 2	愛知用水公団	佐久間導水路ボーリング工事
3	中部電力岐阜支店	厚見変電所地質調査工事
6	豊橋土木出張所	防汐樋門地質調査工事
13	名古屋市建築局総務部用度課	前津中分ボーリング工事
12	愛知用水公団豊川事務所	東部幹線岩崎サイホン地点
"	"	" 寺沢サイホン地点
16	半田土木出張所	伊勢湾台風高汐対策工事
"	名港管理組合	西部工業港地質調査
13	豊橋土木出張所	特殊改良西古瀬橋工事
"	"	" 佐奈橋工事
18	"	橋梁整備工事賀茂橋
17	東海電気通信局	鳴海合宿舎地質調査工事
18	市交通局高速鉄道建設部	高速鉄道土質調査工事
25	津島土木出張所	橋梁整備工事萱津橋工事
27	矢作ダム調査事務所	矢作ダム地点ボーリングその四
23	中部電力岐阜支店	大垣 増設地質調査工事
24	日本専売公社	名古屋地方局庁舎地質調査
25	愛知用水公団	東部幹線細谷暗梁工事
27	名港管理組合	西部工業港地質調査その四

指 名 業 者	受 注 者
青葉、三裕、中開	青 葉
中開、旭、熊金組、	旭
久保田、日開、土質、	久 保 田
川崎、土榮、中京、東海、	中 京
三裕、富士、青葉、日東、中開、旭、協立、	日 東
日東、中開、三裕、東京、	中 開
川崎、土質、大榮、東建、中部、	大 榮
三裕、土質、富士、土榮、日開、中部、	中 部
土質、日開、久保田、	土 質
〃 〃 〃	〃
富士、久保田、土質、応用、川崎、日開、	〃
川崎、中開、近畿ボーリング、	近 畿
富士、土質、中京、	土 質
川崎、久保田、中部、村木、中京、	中 部
東邦地下、国土開発	三 裕
川崎、応用、三裕、管、日特、東京、不二、土質、	旭
旭、東鑿、中開、	中 京
中京、応用、中部、	三 裕
三裕、富士、青葉、協立、旭、	〃
三裕、日開、富士、大榮、土質、	

全国地質調査業協会連合会総会議録

日 時 昭和 38 年 4 月 19 日 14 時
会 場 熱海 東山 東一条旅館
出席者 東京、名古屋、大阪、広島、九州、仙台、北海道、
計 19 名

14 時 18 分 応用深田会長の挨拶で開始された。

事業報告（大館辰之助）

- ① 新聞広告の掲載業界 2 社
- ② 経済調査会の積算単価の掲載の件
- ③ ゼネラル問題について結論に於て発注の で口頭で申入れ。
- ④ 全国建設業協会大林会長に正式申入れ底徹するに確約
- ⑤ 千葉県へ申入れた時は我々業者が総辞退（熊谷組）直后県所管課へ申入れ今后繰返さぬ申合をした。
- ⑥ 山梨県では北海道地下資源開発 k k が辞退した。
- ⑦ 三重県では黒幕利根が話し合いに じた。
- ⑧ 北海道では、北海道協会が直接話し合いをした。
- ⑨ 連合会の社団法人の件は前からとりあげ研究中。

決算報告（水町実弘）

水町委員の懇切丁寧なる別紙報告書に依る説明があつた。
この時深田理事長（議長）から各地区の事業報告の要請があり之に依つて北海道地区より発表した。

北海道

過日郵便にて連絡のあつた件について発言し今后共
先方の出方について各地区協会のお協力を願いたい。

東北地区

一般に工事量或は工事その物が底調であり蓋し之は
東京攻勢の面が強いので固る。

北海道地下資源開発k kが策謀しているのではない
かと云う話もあるが之は厳に監視しているので何と
しても東京攻勢は一寸遠慮してもらいたい。

中部地区

佐藤理事長別項の々と整然たる事業報告をされた。

関西地区

事務局開設以来日も浅いのでデータも揃わぬまゝ報
告らしいことも申上げられませんがゼネコンに関し
た事態が二三ありましたが円満処理した。

中四国地区

ゼネコン関係については各所に働きかけ陣容固め善
処中 価格表再編中（一般管理費の扱方は考慮中）

九州地区

協会員全36社、尚12社加入の筈

工事量は多くない傾向であるのに高格工事に叩き合
いの度が高くて何時も難行するので

南九州熊本支部は協会の運営がよく工事については
互譲の精神で処理している。

38-5-17に左項に依つて講習会を開く予定

- 1、講師は各協会員中の練達之士
- 2、現業、機械、ウエルポイント、グラウト、経理事務、
この項目で行う。

この時中部伊藤理事長の発言で北陸、神奈川、の現状並に連
合会としての取扱い方。

北陸協会の設立可能性は近日中に決定するだろう。神奈
川の協会は連合会に入会済を並べて行く資格なし。

尚、東京としては隣接でもあるので関係工事の時あるリ
ミットを定めて話合いには応じている。

続いて四国は分立するのかの発言があり

四国側の二三社の業社がその意向である様に承つている
が実現性は遠いものであると中国側で発言した。

次に

役員の撰考確認

会 長 } 恒例に依つて東京側
副会長
副会長 東北
副幹事 中国

次に

中部伊藤監事発言

連合会総会は各地区総会を終り新役員決定后にして頂きたい。

之に対し連合会は各地区協会は4月

連合会は新旧役員両者で総会をした
い。

議論紛々の結果

連合会総会は6月の処を4月と規約改正をする。

総会出席は各地区共理事長、副理事長、事務局長とする。

協会区域の件

連合会案

工事費約場所の協会で取扱う。

賦課金は協会を通じて授受する。

金額は双方協会の賦課率の低い方を以て精算する。

38年度予算 万場一致確認した。

組織の件

連合会として努力中で現会長在任中に社団法人としたい。

この件は重要であるのでなるべく詳細各地区と連絡をと

り万全を期してお願いしたい。

指名順位決定は難問題であり又各地区では痛感されている事でもあるので各自に今一考を煩してからにしたい。

ボーリング技術士の件

これは連合会としても懸案であるので研究努力するが各地区としても宜しく。一方法として連合会の下に私設的の格を扱う件が発言された。

緑会建設業者との関連について

種議論はありましたが纏つた発言なく済局中央地方共同歩調で本年の重要科題として押し進める事となる。

その他

北海道地下資源開発KKその後

地元協会で相手方を招いて座談会を開く。

横の連絡を常時何かの方法でぬつて進みたい。

全員確認

第一回事務局長会議を開きたい。

総会の時前か后かに一日実施したい。

全員確認

各地区協会の総会でも

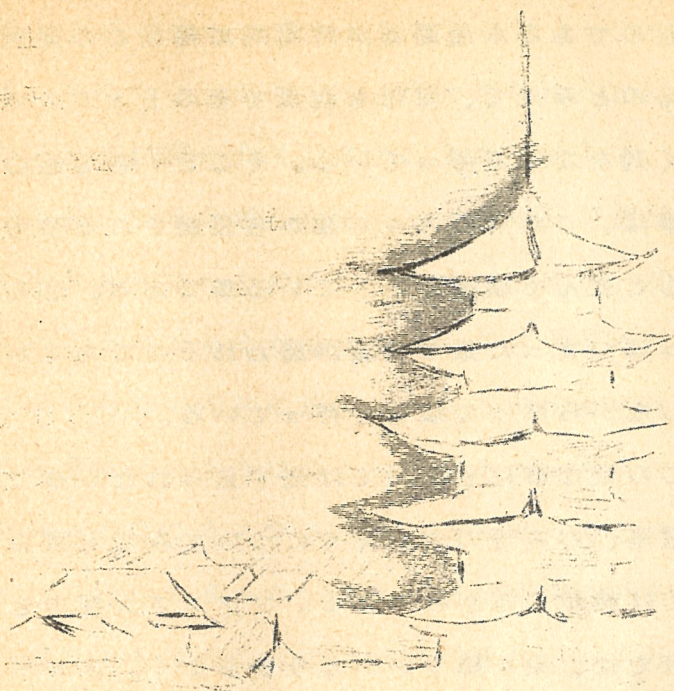
来賓として 学識経験者 友誼団体長、連合会長、

全員賛成

北海道発言

現場使用のディーゼルエンジンの課税を撤廃せよ。

連合会としても研究して努力することとなる。



……愚痴……

名古屋で生れ、幼い時代をこの地で育まれ、また現在名古屋に住みついている私が、名古屋の悪口を云うのは、少からず気が引けるのであるが、思う事云わぬは腹ふくるゝわざ、思い切つて云わせて頂くことをお赦し願いたい。

私は月に一度は必ず上京する。疲れるのでなるべく夜行は避けているが、時には己むをえない事情の為夜行を利用する事もある。朝早く着くので時間をつぶすのに大いに苦勞するが、大体失ず駅構内の浴場で一風呂浴びてから食事をとる。そこでやれやれと思うとたんに、甚だ尾籠な話で大変恐縮だが、大便がしたくなる。駅の便所へ勢よく飛び込

むのであるが通勤者が時間的に相当この便所を利用するものとみえて、何時も満員でその上56人の者が行儀よく列をなして待っている。そこで何時も感心させられる事は、これらの人々が誰から強制される事もなしにきちんと並んで順番を待っている事である。恐らく各人共せっばつまった様な状態が窮われるのであるが、足踏み等しながら黙って順番を待っている。

この様な事は名古屋では先ず見られない事である。

電車、バス等の乗り降りについてみても東京と名古屋とは格段の差がみられる。マンモス大都市と云われる東京では、乗り降りがかなり秩序よく、スピーゲイになされているのにひきかえ、名古屋の場合はお話にならない。無暗やたらに押し合いへし合いをやるから入口でつかえてしまつて、モタモタするばかりで一向にはかどらない。順序よく行列を作くつてやればもつと早くなると云う簡単な理屈が、何故名古屋の人達には判らないのだろうか、また満員電車の中でも東京では、余り足を踏まれる事はないが名古屋ではやたらと踏まれしかも何の挨拶もない。尤も、時には当方もつい他人様の足を踏みつける事もあり、あわてゝ「どうも失礼」等と云えば「どう致しまして」とも云わず黙って変な奴だと云うような顔をしてジロジロ眺められてしまう。名鉄と市バスで通勤している

私はこんなことで腹立たしい思いをしない日はないのである。
東京に限らず、大阪へ行ってみても、名古屋に比べれば、は
るかに秩序のよい事が窮われる。東京、大阪と並んで、我国
三都市の一つに数えられる名古屋でありながら、何故にこの
ように、乗り降りがスマートに行かないのだろうか。私は何
時もある事を考えるのであるが結論を云えば名古屋に住む人
には近代的意識の形成が非常に遅れていると云う事ではない
か。近代的市民意識というのは他人に迷惑をかけずに市民と
しての秩序を保って行こうとする意識であって、自己の利益
を重視して他人の迷惑を考えない農民意識と区別される。
名古屋市民の間にかゝる近代意識の形成が遅れているとすれ
ば、その原因は何であろうか。
今でこそ、名古屋市は臨海工業地帯として重工業が急速に発
達しつつあるけれども、それは極めて近年のことであってご
く最近まで名古屋市の経済は農業生産ならびに、業、繊維
工業の様な軽工業にのみ依存していたものと考えられる。
それを裏づけるデータを手許に持ち合わせないのは残念であ
るが、去る4月19日付の朝日新聞紙上に掲載された、「都
道府県背くらべ力くらべ」と題する資料のなかから、東京都、
大阪府、愛知県の三都府県の数字を捨ててみると次の様な比
較が出来る。

種目 \ 所名	東 京 都	大 阪 府	愛 知 県
面 積	2,027 km^2	1,831 km^2	5,057 km^2
人 口 密 口	10257000人	5972,000人	4446,000人
人 度	5,060人/ km^2	3,262人/ km^2	879人/ km^2
工業総生産高	2461226百万円	2097540百万円	1407235百万円
農業総生産高	14361 "	22421 "	54548 "

愛知県の数字で名古屋市を論ずる事は必ずしも適當とは云えないし、特に人口密度は名古屋市について云えば、この表の数字よりは当然大きくなる訳であるが、併し三者の内最も稀薄な事は間違いない。それにもかゝらず、電車バスの乗り降りのモタつき具合は名古屋が最低であることは先ほど述べた通りである。それはともかく、工業生産額は東京、大阪にはまだまだ追いつかないが農業生産額は愛知県が圧倒的に大きい。要するに東京、大阪は早くから近代的工業都市として発達したのに反し名古屋は最近迄農業都市であったし現在でも尚、その性格が濃厚である。名古屋市民の近代的市民意識が形成されにくく、農民的なにおいの強いのは以上のような経済的理由によるのではないかと云うのが私の極めて粗雑な分析である。近代的な意識は他人に迷惑をかけないだけでなく他人の私生活に干渉しない事である。その反面相互扶助の精神が発達し他人が困っているのは見ていられない。農民意

識は、兎角他人の私事をセンサクしたがる。それでいて他人の不幸には冷淡であるだけでなくむしろこれを喜ぶ傾向すらある。また、近代意識は簡素を好み、農民意識は金をかける事を好む。われわれの協会の中では東京大阪にくらべると総ての会合に金がかゝりすぎると云われるが、これもまた残存する農民意識の現れではなからうか。

「偉大なる田舎」名古屋の、近代都市大名古屋への脱皮は、恐らく急速なテンポで行われるものと思うが、われわれの協会の組織が、それにさきがけて急速に近代化されるのをのぞんでやまない。

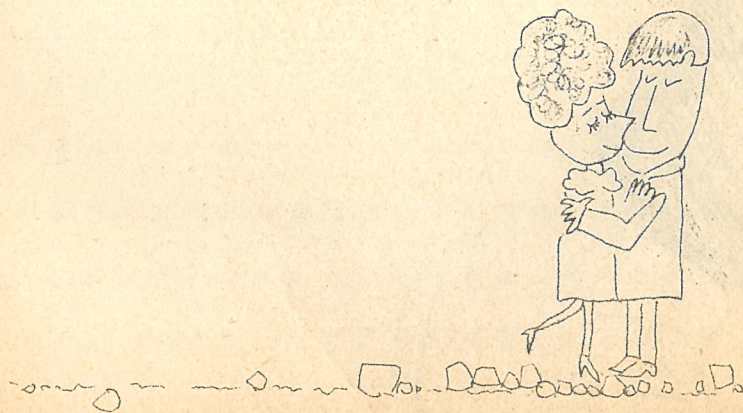
鷹揚山人



ニナリ Corner

世に謂う処の醜男なれど麗しき妻あり美男子にして醜女を
めとれりの一説、見聞を以って知るに、肯定せざるを得な
い。相縁奇縁と申すものゝ誠に嬉しきことではある。

今日に於ては男女の交際が極めてスムーズに行なわれる社
会にあっては選択自由よろしくその審美眼を活用すべきで
ある。そこで筆者の体験によると外観と内容の表裏一体と
申すものは極めて少くかの美術骨とう品と称するものにこ
の例が多い。美術品なれば手に取って吟味する事が出来る
が人間の場合は交際しその本質を極め行為を共にしてみ
ることには良し悪しが解らぬ。殊にカップルとなると良品は
稀である。ところで人間の逸品と名器のカップルは比較的
に多いと推察する処に冒頭の一説が生ずる。筆者の逸品に
対し未来の妻は名器をたずさえて参るであらうか。



おいろけ 川柳

ベットからおつこちそうな

痴戯に更け 重 松

ロマグレをズベ公手玉に

とつて逃げ 犬 飼

陰せなくなつてB Gの

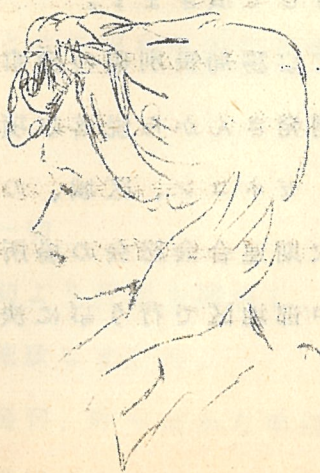
生めぬ腹 管 原

あつけなく終つて彼女に

つねられる 本 間

抱ける娘が出来て小遣

底をつき 辰 己



中部日本地質調査業協会昭和37年度事業報告

我々中部日本地質調査業協会は昭和36年4月に生声を揚げたばかりで万二才で規模も甚だ弱小でお辱しい次第ですが併し小さなりに全員一丸となつて第二年度の本年は躍進の年として各役員全部が思い切りお尽力頂ける様適任の部間を担当して活動される様四部制とした。

第1部 研究部

学術研究の為の有識者よりの受講各社優秀技術の交換公開等一般会員の向上発展を期す。

第2部 広告宣伝部

新聞広告、友誼団体に働きかけ、発注先の開拓研究協会再認識のPR、会報の発刊、単価表の発刊、

第3部 厚生親睦部

協会員相互の福利厚生レクレーション現場見学、雇傭員間の融資等会員と共に福利厚生の円満なる発展を期す。

第4部 財務部

予算調整融資関係一切

この陣容を固め年初より行動を開始し、おおよそ次のような事柄を実施致しました。

1、単価表2千部の発刊、昨年度から準備中であつたものを4月発表各発注元へ送つた。

- ノ、発注元のお役所との単価表のお批判を中心とした座談会
- ノ、北海道地下資源開発KK事件に依る全国連合会創立入金は皆様のお承知の通りであります。

ノ、地質関係講習会の開催

講師 名古屋大学理学部地球科学教室理学博士松沢勲先生

第1日 濃尾平野を中心とした地質について

第2日 豊橋を中心とした地質について

第3日 温泉ボーリングについて

以上3日間に亘り受講した。出席者120人

- ノ、春夏の2季閑散時にレクレーションとして麻雀大会を開催した。出席者80人

- ノ、年初より協会機関紙として会報を発行、第4号紙より内容を向上刷新して発行する。

- ノ、協会の活動について従来の事務室では不自由の為隣室をノ室会議室として改造拡張した。合計1ノ坪となる。

- ノ、労務費のその後の昂騰諸物価の値上りに対する単価表の改定を準備して居りましたが漸く編集を完了印刷の段階にあります。

- ノ、尚、協会の啓蒙PRの一助として協会員章札を制定し協会員各社に掲揚して頂く事とした。

以上で昭和37年度の実施事業の概要を申し上げましたが次に業績の一端を申し上げてこの報告を終わりたいと思います。

4 月	6件	8 月	36件	12 月	122件
5 月	15	9 月	26	1 月	17
6 月	24	10 月	21	2 月	20
7 月	17	11 月	24	3 月	18
				計	247件

お静聴有難うございました。

最高の性能を誇る

カノ式 KR型 試験機

V6型 2連式プランジャーポンプ

カノ式 KH型 ミキサー

各種 掘さく具 及び 附属品

製 作 販 売

株式会社 カノボーリング

名古屋出張所

TEL(57) 1905

本 社 東京都渋谷区並木町

TEL 408 1335 9495

大阪出張所 大阪市北区河内町

TEL 351 8612

清水支店 静岡県清水市宮加三 2の5

TEL (3) 0653

昭和38年 月ノ月 発行

(非売品)

発行責任者 加藤 七之助

名古屋市中区西新町西新ビル

中部日本地質調査業協会